

訪問診療・往診の違いって？

皆さん、「往診」と「訪問診療」の違いについてご存じですか？

「往診」とは突発的な病状の変化に対して、患者、家族からの要請を受け、医師が訪問し診療を行うもので、基本的には困ったときの臨時の手段です。

「訪問診療」は医師が計画を立て「○曜日の▲時」と約束して定期的に訪問し、診療、治療、薬の処方、療養上の相談、指導等を行います。これまでの病歴、現在の病気、病状などを把握し、診療計画、訪問スケジュールを立てます。なお、急変時には緊急訪問に伺ったり、入院の手配を行ったりするなどの

対応をします。

訪問診療の導入については、本人・ご家族の意向を確認し、「かかりつけ医」に相談するように努めましょう。

「かかりつけ医」による在宅医療の提供が困難な場合には、「かかりつけ医」に対応可能な医師を紹介してもらい、各区はち丸在宅支援センターに相談する、医療系サービスを利用している場合、その事業所に相談してみましよう。



救急隊による「はち丸ネットワーク」の活用について

名古屋市内43の救急隊において、はち丸ネットワークの閲覧が可能となりました。

今後、救急搬送時の円滑な連携のため、救急搬送時の関係者として救急隊がはち丸ネットワーク登録患者を閲覧のうえ対応することがありますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



編集後記

この度、無事「はち丸っと」第1号が発行できました。ありがとうございます。この「はち丸っと」を通じて、皆様に各区はち丸在宅支援センターの取り組み、在宅医療について知っていただけたら幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、新年会シーズンですが、飲み会の終盤「手締め」を行うことがありますか？

メジャーな「一本締め」を始め、「三本締め」、「一丁締め／関東一本締め」、「大阪締め」、「博多手一本」など、手締めにも地域による違いが存在しているそうです。次回の新年会、新たな手締めにチャレンジしてみませんか？ (Y)



はち丸っと



はち丸在宅支援センターは、名古屋市医師会が名古屋市委託事業として実施している「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療体制の整備事業」における在宅療養支援窓口として各区に設置しています。はち丸在宅支援センターでは、在宅療養に関する相談対応を始め、多職種連携の推進、在宅医療の体制整備を行っております。

なごや在宅医療・介護連携ハンドブック

令和元年6月に「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」を発行しました。これは平成27年3月に発行した「名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン」を改定したものです。

「ハンドブック」は、在宅で療養を希望する市民を多職種が連携して支援するための手引きであり、在宅の主要3場面〈在宅療養〉〈入退院〉〈看取り〉を取り上げています。A5でカラー版、手元に置いてすぐに活用していただけるサイズになっています。

内容は概ね平成26年度初版を踏襲していますが、今回は『入院時情報提供書』の収載、「看取り時の連携」、「アドバンス・ケア・プランニング：ACP」についての説明が加わりました。『入院時情報提供書』は「入院時情報連携加算」算定に対応した書式で、はち丸在宅支援センターホームページからエクセル版のダウンロードが可能です。「看取り時の連携」では、意思決定を支える多職種協働のプロセス、そしてACPの説明を事例に基づいたタイムライン図で表しています。

在宅療養をされている方からご自宅での最期を望まれている方まで、多職種で連携してより良い支援をするために、是非ご活用ください。



名古屋市在宅医療・介護のしおり

「名古屋市在宅医療・介護のしおり」は、ハンドブックと同じく令和元年6月に発行しました。

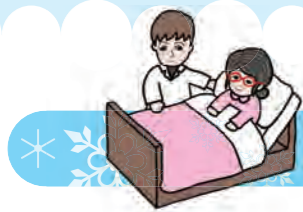
このしおりは、医療と介護の多職種の支援を受けながら、希望すれば最期まで自宅で生活ができることを、市民の皆様を知っていただく事を目的に作成しました。「アドバンス・ケア・プランニング：ACP」についてもご紹介しています。

文字での説明は少なく、イラストで在宅の多職種およびサービスを紹介していますが、これは市民の皆様「説明して渡す」という前提で作成されたからです。これをご覧になった多職種の方々からも「他の職種がどのような支援ができるのかよく分かる」という声をいただき、様々な現場でご活用いただいています。はち丸在宅支援センターでも、しおりを用いて市民向けの普及啓発活動を行っています。



ハンドブック・しおりは、名古屋市医師会及び各区はち丸在宅支援センターで配布しております。また、ウェブサイトよりダウンロードも可能ですので、どうぞご利用ください。
(<https://zaitakukaigo.nagoya/>)





市内16区で ACP研修会 (概論編) を開催!

名古屋市医師会では、在宅療養者を支える多職種が、本人の意思決定を支援し共有することは必要不可欠であることから、在宅療養者の意思決定を支援するプロセスについて理解を深めるために、今年度、市内全区においてACP (アドバンス・ケア・プランニング) に関する研修会を開催しております。

愛知県では、昨年度より「人生の最終段階における医療体制整備事業 (通称“あいちACPプロジェクト”)」が始まっております。あいちACPプロジェクトでは、地域リーダーとして活躍いただける高い意思決定支援能力を有する保健医療従事者を養成しており、昨年度、名古屋・尾張中部医療圏では名古屋市医師会が地域拠点となり養成研修が行われました。

このプロジェクトをきっかけに、名古屋市医師会では、各区医師会、各区はち丸在宅支援センターとの共催で、地域リーダーの方々に講師・コーディネーター、ファシリテーター等を担っていただく「ACP研修会 (概論編)」を開催しています。



第1部 講義
「アドバンス・ケア・プランニング概論」



第2部
グループディスカッション

ACP研修会 (概論編) では、①ACPに関する基礎的知識の習得、②多職種チームによる意思決定支援の理解、③多職種の実践にACPが含まれていることの理解をねらいとして、講義とグループディスカッションの二部構成としています。この研修は、市内において在宅医療・介護に関わる多職種を対象に、国立長寿医療研究センターの三浦久幸先生監修の講義テキストにより、市内統一の内容となっております。



おみとりん



アンケートでは、参加前のACPに対する理解が「あまり理解できていなかった」「全く理解できていなかった」と回答された方が5割を超える区が多くありましたが、参加後は、ほとんどの区で「非常に理解できた」「ある程度理解できた」と回答された方が9割を超えていました。

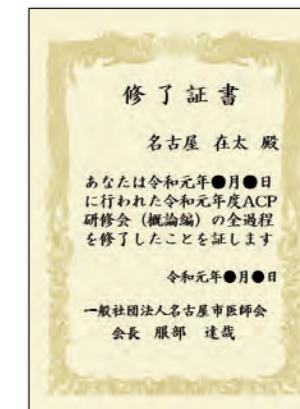
また参加者からは、「色々な立場の方からの考え方や感じていることが聞けて有用でした。『日々変化する思いをつないでいくこと』の大切さを実感しました。」等の感想をいただきました。



本研修会を受講された方には修了証をお渡しし、はち丸在宅支援センターホームページへ名簿の掲載を予定しております。

また、「ACP研修会 (フォローアップ編)」へのご参加は、本研修会を受講された方のみを対象とさせていただきます。

ACP研修会 (概論編/フォローアップ編) に関するご質問等は各区はち丸在宅支援センターまでお問い合わせください。



修了証



各区はち丸在宅支援センターの連絡先

- | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 千種区 052-732-0874 | 東区 052-933-0874 | 北区 052-982-0874 | 西区 052-561-0874 |
| 中村区 052-481-0874 | 中区 052-201-0874 | 昭和区 052-763-0874 | 瑞穂区 052-852-0874 |
| 熱田区 052-683-0874 | 中川区 052-354-0874 | 港区 052-652-0874 | 南区 052-823-0874 |
| 守山区 052-795-0874 | 緑区 052-896-0874 | 名東区 052-760-0874 | 天白区 052-800-0874 |

受付時間：月曜～金曜 (祝日・年末年始除く) 午前9時～午後5時

はち丸在宅支援センターは、名古屋市から委託を受け、一般社団法人名古屋市医師会が運営しています。

